

令和6年12月22日

# 南の風 For Junior 173

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

今回はU12（U15にも当てはまる）のゲームIQを高める指導について書きます。

2023DCコーチ研修会U12コース育成コーチ講習会で、次のようなことが提案されました。

## 《判断する力》

### ▼判断の悪さ×技術遂行力の高さ

※判断が悪くても技術力の高さで得点できた

### △判断の良さ×技術遂行力の低さ

※判断は良かったけれど技術力の低さで得点できなかった

どちらを評価するか？ 海外では圧倒的に判断の良さを尊重している、ということでした。

「いい判断ができる」ということは、今後の成長に大きなウエイトを占め期待が持てるということです。育成に来る選手は能力が高く、スピードで抜くとか多様なスキルを駆使してシュートまで行けることが多いのです。

育成センターで能力だけで得点できる選手を認めOKにしてしまうと、上のカテゴリーに行った時にかなり致命的になることがあるそうです。自分の能力だけで得点してしまうことが、簡単にOKにならないような状況を設定したり、練習環境を作ったりすることが非常に大事になるということです。

以上です。

「競争闘争理論」という本（サッカー競技分野の本）の中で、次のようなことが書かれています。

### ☆競争的競技 ⇒ 時間的な軸が違う・空間的な軸が違う中で行う競技

※陸上短距離走でいえば、第1レースの人が何秒、第8レースの人が何秒かで競争できる  
技術的に相手に邪魔されることなく、技術が発揮できるようなスポーツ

※クロズドスキルで勝負する

### ☆闘争的競技 ⇒ 同じ時間軸で同じ空間を共にして、相手が邪魔する中で技術を発揮する競技

※テニス・バレーボールは時間・空間は共有しているがネットで隔てられているのは、間接的  
といえる（味方と相手が入り乱れない。カオスにはならない）

また野球やバレーは団体競争型のスポーツである

サッカー、バスケットボール、ラグビーは団体闘争型のスポーツ（味方と相手が入り乱れ、  
カオス状態の中で行う競技） 日本は団体闘争型スポーツが弱いといわれる

競争的スポーツと闘争的スポーツでは、『与えられている権利が全く違う』

#### ◎競争的スポーツ

- ・技術を発揮する権利が与えられている

#### ◎闘争的スポーツ

- ・相手を妨害（邪魔する）権利が与えられている

次号に続きます